

聖書:ミカ書5章1～6節

説教:永遠の昔からの定め

はじめに

アドベントの第三週目に入り、先ほどともしていただいたろうそくは「神が与えてくださった喜び」を現すと申し上げました。今の時代に、「喜び」と言っても心の底から喜べる人はあまりおおくないでしょう。むしろどこにも出口が見えないような現実を前にしてますます心が塞がっていくばかりです。先週私たちはイザヤ書を開き、希望が見えにくいこの時代にイザヤを通して神がしるしを与えて下さったことをみてきました。今朝はミカ書を開き、神が与えてくださった喜びとはなんであったかを考えてまいります。

ミカ書は預言の書ですから未来に起きることを語ります。そうしますとどうしてもわかりにくいところがある。夢は普通では考えられない話しが展開していきますが、それに似ている。それで少し説明が必要です。

1 ミカの時代

1) アッシリア帝国の脅威にさらされる

まずミカがいつの時代の人であるかについては、1章1節にあります。「モレシェテ人ミカにあった主のことば。これは、ユダの王ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代に、彼がサマリアとエルサレムについて見た幻である。」

ここにある三人の王のうち、アハズについては前回イザヤ書を見た時に触れました。ミカとイザヤはほぼ同じ時代に活躍した預言者です。当時、アハズの頃アッシリアはまだ近くに来ていませんが、次のヒゼキヤの時代になるとアッシリアは北イスラエルを倒し、南ユダに迫ろうとして緊張が続く時代でした。

2) 「わざわいは私たちの上に及ばない」

そんなとき、人々はどうしていたか。3章10, 11節。「流血でシオンを、不正でエルサレムを建てている。そのかしらたちは賄賂を取ってさばき、祭司たちは代金を取って教え、預言者たちは金を取って占いをする。しかもなお、彼らは主を当てにして、「主は私たちの中におられるではないか。わざわいは私たちの上に及ばない」と言う。」

アッシリアが攻めてくるかもしれないというときに、政治家たちはわいろをとり、祭司たちは神のことば商品のように金をとって売る。占い師

は、自分こそ神から遣わされた預言者であると自称して、主がおられるのだから、絶対にわざわいにあうことはないと言い放っている。ひとことで言えば、正しいことが正しいことをして扱われず、好き勝手に曲げられている。そんな時代でした。

3) アッシリアが王の頬を杖で打つ

では本当にわざわいは来なかったのか。いいえ、ミカはこう言った。5章1節。「今、軍勢をなす娘よ、勢ぞろいせよ。包圍網が私たちに対して設けられた。彼らは、イスラエルをさばく者の頬を杖で打つ。」

これはだけではわかりにくい。イザヤ書10章5節を開くと同じような表現があって理解の助けになります。「ああ、アッシリア、わたしの怒りのむち。わたしの憤りの杖は彼らの手にある。」やがてアッシリアが攻めてきて、ユダの王たちを打つことになる。あなあなたがたはその備えをしなさい。ミカはこのように警告し、実際それからおよそ百数十年後にそのとおりになります。

2 しばらくの苦しみ

1) さばき

アッシリア軍がエルサレムを包圍し、神殿を荒らし、王ともろもろの要人たちが補囚となってアッシリアに連れ去られていきます。その中にダニエルもいました。神から遣わされた預言者の警告にも耳を貸さずに罪を重ねたのですから、さばきの当然の結果でした。

もしそこで話しが終わりであるのなら、何の希望もなかったでしょう。しかし聖書はそこで終わらない。その先に救いの希望を語っていく。どこに希望が書かれているか。例えば5章3節です。

「それゆえ、彼らはそのままにしておかれる。産婦が子を産む時まで。そのとき、彼の兄弟のほかの者はイスラエルの子らのもとに帰る。」でもこれはどういう意味か、わかりにくい。

2) 身もだえして、もがき回れ

そこで少し戻って4章9節を見ます。「今、なぜあなたは大声で叫ぶのか。あなたのうちに王がないのか。あなたの助言者は滅び失せたのか。それで、子を産む女のような激しい痛みがあなたをとらえたのか。」

いつの時代にも、目の前で不正が堂々に行われ、嘘偽りを平気で語り、不正によって私腹を肥やしていくのを見て、心を痛める人たちがいます。それはまるで「子を産む女のような激しい痛み」に似ている。それはよいとして、続く4章10節には「身もだえして、もがき回れ」とあって、少し驚きます。神は私たちが苦しむことを喜んでいるのか。もちろんそんなはずはない。そもそも、なぜ「子を産む女のような激しい痛み」という言い方をするのか。陣痛は永遠に続きません。出産したとたんに痛みがけろっとなくなると聞きます。「身もだえして、もがき回れ」と言われるのは、「苦しめ」ということではない。あなたの苦しみはいつまでも続くのではない。子どもが産まれたら陣痛はなくなるように、苦しみには必ず終わりがある。それが5章3節で言おうとしていることです。「彼ら」とは神にそむいたイスラエルのこと。しばらくの間、アッシリアの手で苦しむことになる。しかしそれは産婦が子を産むときまで。その日、追い散らされていた者たちは、自分の国に帰ることができる。

3 処女が男の子を産む

1) 産婦が子を産むときまで

それはいつのことでしょうか。5節で「アッシリアが私たちの国に来て」とあって、これは紀元前605年のことで、ダニエルが補囚になったときのことだと見当がつく。でも6節後半はどうか。「アッシリアが私たちの国に来て、私たちの領土に踏み込んで来るとき、彼は、私たちがアッシリアから救い出す。」この「彼」とは誰のことか。そしてこれはいつ起こったのか。歴史を調べてもこれに該当するようなものはない。2節だってそうです。

「ベツレヘム・エフラテよ、あなたはユダの氏族の中で、あまりにも小さい。だが、あなたからわたしのためにイスラエルを治める者が出る。その出現は昔から、永遠の昔から定まっている。」

ミカがもし、アッシリアのことだけを語っているのなら、この2節で何を言いたいのかほとんどわかりません。しかし私たちは、この2節の意味を別のところで教えられて知っています。

2) キリストはどこで生まれるのか（マタイ2章4, 5節）

今から二千年前、東のほうからエルサレムにやって来た博士たちが「ユダヤ人の王として生まれになった方は、どこにおられますか」と叫んだときのことが、マタイ2章に書かれています。ヘロデ王

はすぐに聖書の専門家を呼び、キリストはどこで生まれるのかと問いただしたところ次のように答えました。マタイの福音書2章5節。「ユダヤのベツレヘムです。預言者によってこう書かれています。ベツレヘム・エフラテよ、あなたはユダの氏族の中で、あまりにも小さい。だが、あなたからわたしのためにイスラエルを治める者が出る。その出現は昔から、永遠の昔から定まっている。」

これを読んで、ミカが何を語っていたのか了解するわけです。イエス・キリストがお生まれるになる七百年以上も前に、そのお生まれになる場所を正確に預言していた。聖書で、産まれる場所について述べているのはこの箇所だけです。エフラテとはベツレヘムの古い名前、他の町と間違わないようにわざわざこのような言い方をしています。

3) 永遠の昔から定まっている

もう一度4章10節に戻ります。「娘シオンよ。子を産む女のように、身もだえして、もがき回れ。」いつまでも苦しみ続けなさい、という意味ではないということは触れました。そもそも娘シオンは、どうして苦しむのでしょうか。バビロンが攻めてきたから苦しむのか。それも含まれますが、このときはまだバビロンは攻めてきていない。それなのに苦しんでいる。この国に正しい王がいないからです。救いに至ることばを正しく語る助言者がいないから、のたうち回るのです。賄賂がやりとりされ、嘘を大声で叫んで恥じることもなく、不正のはかりをつかって商品を売り、富と権力を持つ者が貧しい者、病む者、障がいを持つ者、やもめの人たちを苦しめて恥じることがない。そういう世の中を見て、「なぜですか、どうしてですか、いつまでですか」と叫びながら身もだえして苦しむ。

その叫びを主が聞いておられるのです。あなたがたを救うために、救い主が遣わされていく。その方はベツレヘムでお生まれになる。その日、あなたがたの苦しみは終わる。

このことを、神はいつ定めてくださったのか。「永遠の昔から定まっている」とあります。私たちが良いことをしたから救いましょう、ではない。私たちがどんなに悪いことをして罪を犯しようとも、神は永遠の昔からすでに定めてくださっていたというのです。

このことに関して最後にある方のご紹介します。

教会に毎週火曜日の午後にお電話をくださる方がいます。その方はいつも同じ質問をされます。

「私は一度信じて主は救い主ですと告白したけれど、今は神を忘れることも多いし、神を呪ったりすることもします。こんな私でもまだ救われているのでしょうか。」私はこう答えます。「大丈夫です。心配になって電話をかけてくるのは、聖霊が働いているからできることです。でなかったら電話など絶対にしません。電話をしてくるということは、聖霊が働いている証拠です。聖霊がおられるのですから救われている立派な証拠です。」

自分は神の前に立つことのできない罪人であるとも苦しんでいるのなら、あなたのためにこそ主イエス・キリストはお生まれになったのではないか。苦しむ者のために、既に神が救いのご計画を定めていたのです。苦しみはしばらく続くかもしれませんが、でも永遠に続くのではない。苦しみは産婦が子を産むときまで、と定まっている。この苦しみの先に、主は本当の喜びを用意してくださっている。このクリスマス、ともに喜びの日を待ち望みたいと願います。